

# 広報 **ふじ** NO.224

発行・富士市役所  
富士市永田61-1  
編集・  
企画調整部広報広聴課  
【毎月5日と25日発行】

52.4.5 発行

【ぽかぽか陽気の3月25日、「親と子の市政教室」を開き、参加した70人の親と子が貸切バスで市内の公共施設を見学し、楽しい一日を過ごしました。||丸火自然公園で】



広報紙は早く配布してください





# 一般会計当初予算



歳入

222億9000万円

- ★ 市税 121億7422万5千円
- ★ 地方譲与税 2億500万円
- ★ 娯楽施設利用税交付金 3000万円
- ★ 自動車取得税交付金 2億2000万円
- ★ 地方交付税 4000万円
- ★ 交通安全対策特別交付金 3300万円
- ★ 介担金及び負担金 7億4776万3000円
- ★ 使用料及び手数料 3億8899万9000円

★ 国庫支出金 31億3527万1000円

★ 県支出金 5億2958万8000円

★ 財産収入 7124万6000円

★ 繰入金 1900万円

★ 寄附金 1110万3000円

★ 繰越金 5億7200万円

★ 市債 201億5790万円

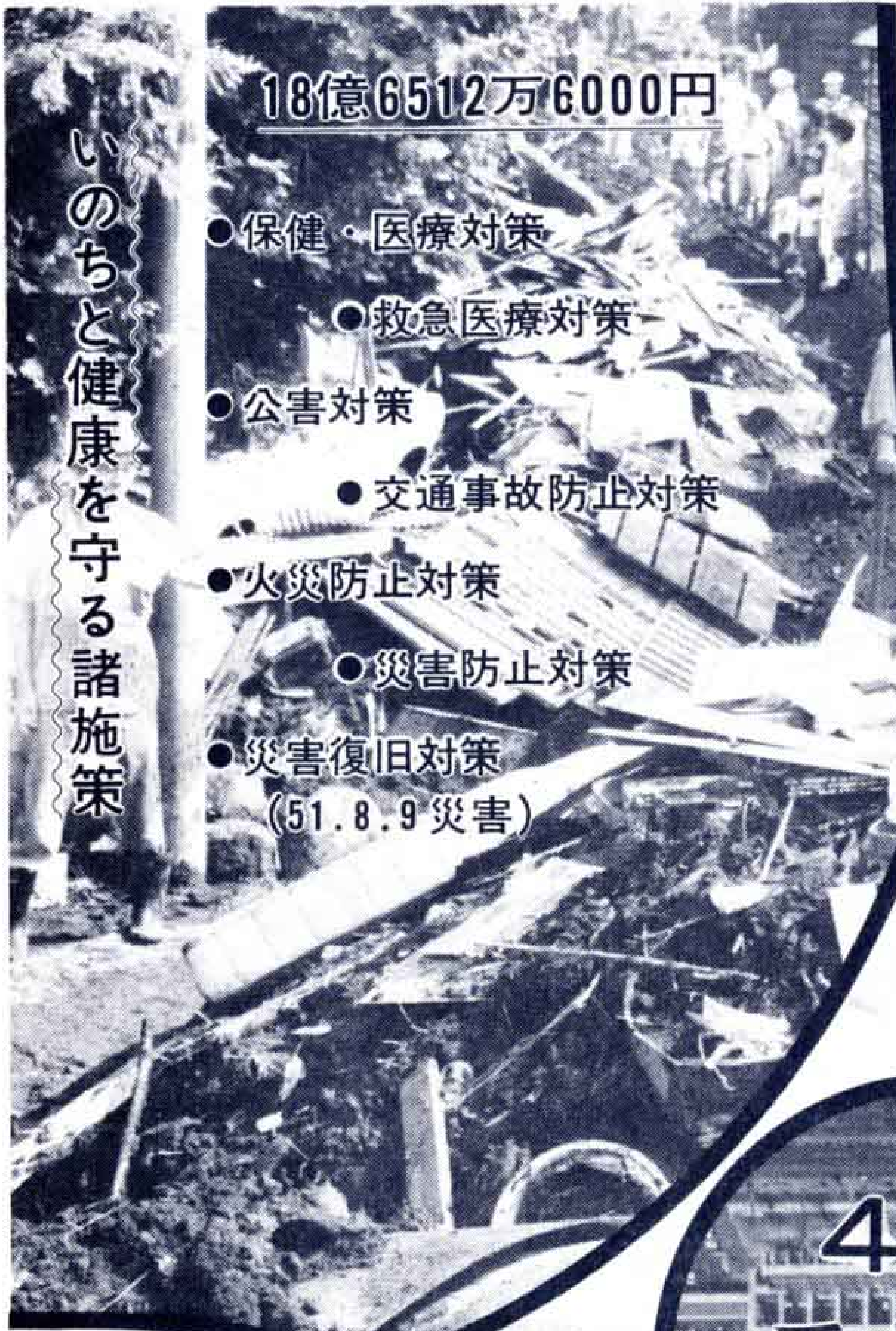
★ 諸収入 201億5490万5000円





一般会計……222億9000万円	富士中部土地区画整理事業…2590万円	旧今泉一色・神戸・今宮………780万円
特別会計……64億1084万円	学校給食事業………8680万円	旧元吉原………228万円
＝特別会計＝	地方卸売市場事業………5億9350万円	旧須津………180万円
国民健康保険事業………29億1400万円	駐車場事業………6650万円	旧吉永………430万円
下水道事業………16億620万円	公共用地先行取得事業…2億9830万円	旧原田………645万円
青島・津田土地区画整理事業清算金	内山………4660万円	＝企業会計＝
………280万円	旧吉原………321万円	水道事業………17億251万1000円
依田原新田土地区画整理事業	旧島田………600万円	病院事業………25億8626万4000円
………7億2500万円	旧今泉………1340万円	市の予算総額………329億8961万5000円





18億6512万6000円

- 保健・医療対策
  - 救急医療対策
- 公害対策
  - 交通事故防止対策
- 火災防止対策
  - 災害防止対策
- 災害復旧対策  
(51.8.9災害)

いのちと健康を守る諸施策



79億9761万4000円

- 住宅対策
  - 市道整備対策
- 街路整備対策
  - 土地区画整理対策
- 上水道対策
  - 下水道対策  
(都市下水路)
- 清掃対策  
(ごみ・し尿処理)
  - 公園・緑地対策
- みどりと自然対策
  - 農業・林業対策
- その他  
(商工業金融対策  
都市計画  
環境整備ほか)

快適で住みよい豊かなまちをつくる諸施策

4つの  
重点施策  
予算



- 子どもと母親対策
- 老人対策
- 心身障害者対策
  - 低所得者対策
- 消費者対策
  - 勤労者対策

子どもや老人等の生活を守るための諸施策

10億3951万5000円



- 幼児教育対策
  - 義務教育対策
- 高等学校対策
  - 社会教育対策
- 社会体育対策

教育や文化の水準を高めるための諸施策

32億8951万8000円



# 地震に備えて(3) あなたの避難対策は？

地震が起ったら、建物の倒壊や火災などから身を守るため避難しなければなりません。しかし、あわてて避難をすとかえって危険になる場合もありますから、次の点によく留意してください。



## (1) まず「いつときの避難場所」にいく

地震のすぐあとに、家族や近所の人たちとおち会って余震や火災のおそれはないか、しばらくようすをみるところが「いつときの避難場所」です。

- いつときの避難の際は、あわてず火やガスの始末をしましょう。
- 近くの公園や空地をふだんからよく確かめておきましょう。

## (2) どの道を通って避難しますか？

あなたの家または、いつときの避難場所から市の指定する「広域避難

場所」へ行くには、どの道を通っていくのが一番安全かよく確かめておきましょう。

- 避難路には、この道だけと限定しておくことは、かえって危険な場合がありますから、2~3の避難路を決めておきましょう。
- 避難路付近に火災が起きていないか、建物が倒れていないか、橋は落ちていないか、地割れのため通れるか、よく注意して行動しましょう。

## (3) いつ避難するか！

この判断はむずかしいですが、判

断をあやまると、とり返しのつかないこととなります。関東大震災の際に、被服廠（ひふくしょう）跡でまだ安心だと思っているうちに火につつまれ、にげおくれで何万人という人がなくなっています。

- 自主的に避難する場合……となり近所から火がでて、消火不能となり、燃え広がる危険があるとき。
- 避難の指示、勧告で避難する場合……市役所、自主防災組織（町内会）などで、避難の指示がでたとき。

## (4) 避難場所について

避難場所は、みなさんの生命を守るとりです。

- 家族・隣組・自主防災組織（町内会）等でお互いに協力して、まとまって行動してください。
- 自分だけの判断で行動せず、かならず、市役所や自主防災組織（町内会）の係の指示に従いましょう



## 市職員を募集

- 採用職種と人員 看護婦または保健婦 1名
- 受験資格 昭和52年4月1日現在、年令満40才以下で看護婦または准看護婦保健婦のいずれか免許をもった健康な人
- 申込み方法 受験申込書（市庁舎8階の企画

- 受験申込み
- 試験予定
- 問合せ先

調整部人事課に所定の用紙があります。)によって申込んでください  
 昭和52年4月15日（金）から4月21日（木）まで  
 昭和52年4月22日（金）  
 〒417 富士市永田61-1  
 富士市企画調整部人事課  
 電話0545 (51) 0123 内線518



# 富士見台団地内の総合交通規制を実施

## 4月1日から団地内は全面駐車禁止

県下一のマンモス団地といわれる市内富士見台団地内で、4月1日から全面的に交通規制が行われています。

富士見台団地は、市営住宅や社宅個人住宅、ショッピングセンターなどの建設で市街化が進み、4月からは市立富士見台小学校や幼稚園なども

新設されて、交通量も日増しにふえ交通事故の発生が心配されています。このため、富士警察署と市交通課では団地内の交通安全施設の整備と団地内の総合交通規制を行って、交通事故防止につとめることになり、市民のみなさんのご協力を呼びかけています。

**主な交通規制**

- 団地内道路は全面駐車禁止
- 外まわり道路は時速40kmのスピード制限
- その他の住宅街道路は時速30kmのスピード制限



## 自転車の無料点検を受けましょう

毎月第3土曜日の全国自転車安全の日...

自転車も人の命をあずける大事な乗りものです。たかが自転車ぐらいと軽くみないで、他の乗りものと同様、整備して安全に利用しましょう。特にブレーキの故障やライトの点灯不備は大きな事故につながります。

自転車組合では、交通安全の一環として、毎月第3土曜日を全国自転車安全の日と定めて、自転車の無料点検を行っていますので、近くの自転車店で点検を受けましょう。



# ワタワふじ

## 卒業記念に俯仰の池

市立吉原第1中学校のこの春の卒業生が、母校の校庭に卒業記念の庭園をつくりました。

この庭園は、手造りによる和風の庭園で、中に「俯仰の池」＝大地を見おろし、天をあおぐという意味＝と名づけた池や植え込みなどもあり、PTAの協力で立派にできました。

3月16日に行われた開園式には、池にたくさんのコイも放流しました。



【新しい池にコイの放流】



【一本一本ていねいに…】

## やがて立派な保安林に…

わたしたちのまちを高潮やしお風から守ってくれる保安林を育てようと3月21、市内中丸地区の中学生が卒業記念に保安林の植樹と清掃を行いました。この日は、保安林を守る会の人達の指導で、PTAのおかあさん達もおおぜい応援してサザンカの苗木100本を砂地にていねいに植え、松喰い虫の幼虫の駆除なども行いました。

## “背番号77”の少年野球教室

不滅の背番号77、プロ野球元巨人軍監督の川上哲治さんを迎えて、市体育協会が富士球場で、少年野球教室を開きました。この日は、あいにく小雨模様の天気でしたが、スタンドは豆フアンでいっぱい。市内の少年野球チームから選ばれた約100名の豆選手達はキャッチボールやバッティングなどの基礎トレーニングや「野球はチームのプレーであり、野球を通してよい人間関係をつくり立派なおとなになってください」と野球哲学などをみっちり勉強しました。



【豆選手も熱心に受講】

正しく使おう みんなの道路





# つるまきだ

親鶴はびっくりしてひなを巣へかえそうとしましたが、どうしてもできません。鶴がこまっているところへ、山から家へ帰ろうと、ひとりのおじいさんが通りかかりました。おじいさんは、鶴がこまっているのを見てかわいそうになりました。

ひなを拾い上げて木の上を見ると、ずっと高いところに巣が見えます。おじいさんは木のぼりの名人でしたが、こんな高い木にのぼったことはまだありません。でも、こまっている鶴を見ていると、ひなをなんとかして助けてやらなければという気持ちでいっぱいになりました。おじいさんは勇気をだして木へよじのぼり、やっとひなを巣へかえしてやりました。



こんなことのあったあくる年、村は大飢饉におそわれました。すっかり食べるものがなくなった村人は、種にしようとして大切にとっておいたタネモミまでも食べつくしました。村では春になっても種まきができません。すると、どこからか鶴が飛んできて、田んぼに種をおとしていきました。

秋がやってきましたするとどうでしょう。鶴がまいた種がりっばに実り、村人は鶴のおかげで救われました。うえ死にしないでもすんだのです。

村人は、この鶴を神様の鶴として大切にするようになりました。そして、鶴が種をまいた田といういわれで、この田に「つるまきだ」と名をつけました。これは、今でも中里に残る昔ばなしです。

ずっと昔のことです。中里の宇佐八幡宮の境内に、昼でも木の下はうすぐらい大きな松の木がありました。その松の木へどこからか鶴が飛んできて卵を生み、ひなをかえしては育て、寒くなるころまたどこかへ飛んでいってしまいますある年のことです。いつものように鶴が飛んできて卵を生み、ひなをかえました。ところがある日のこと、どうしたはずみか、ひながいち羽巣から地面へ落ちてしまいました。



## 吉原市民会館で母と子の音楽会

3月26日、吉原市民会館ホールで、母と子の音楽会を開きま



した。広いホールも、チビッコ達で満員。

第1部は、エレクトーンの演奏、とても静かに聞いていました。第2部は、真理ヨシコさんの歌とお話。春よこい、どじょっこふなっこ、1年生になったらを、みんないっしょに大きな声でうたいました。



### よかつた市政教室

田子浦小  
4年

高山剛一



ぼくは、親と子の市政教室に参加して、富士市のいろいろな施設や、そこで働いている人達のすがたを見ました。

自然の中で、大きく広がる富士山を見ながら遊べる丸火自然公園。ごはんを食べてから、力いっぱい遊びました。

また、清掃工場ではおじいさん達がぼく達の家から出るゴミをかたづけしてくれました。ゴミをつぶす所でぼくが「くさいなあ」といったらお母さんが「こういう所で働いている人達が、いちばん大変だよ」と、いいました。

ぼくは、3年生のとき富士市について教わり、4年生では歴史を少しならってました。でも、きょうの市政教室で、今まで気がつかなかったこともわかって、とってもよかったです。と思いました。